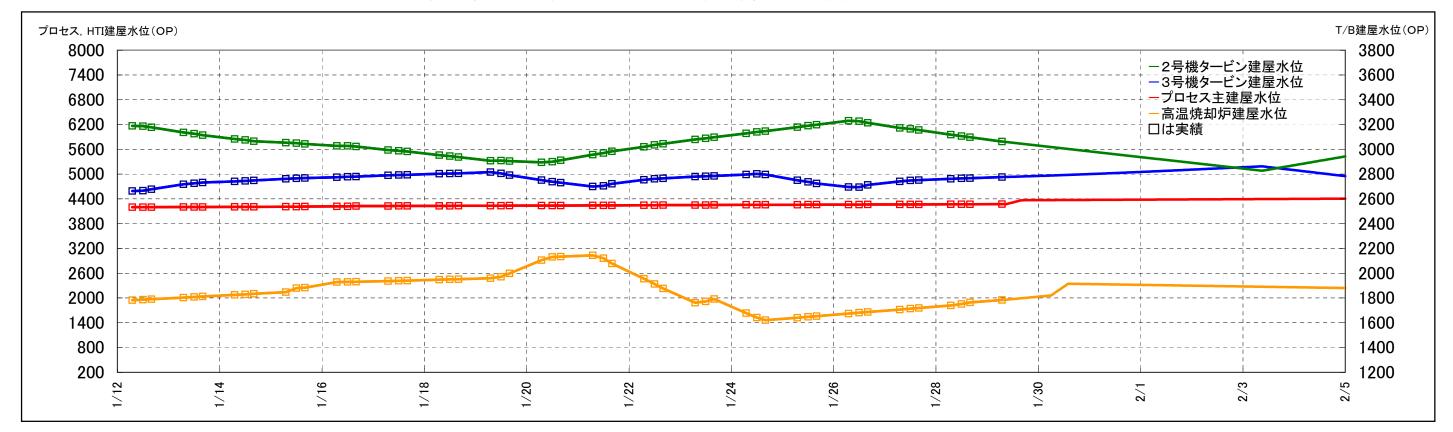
•地下貯水槽 vii 約2100/約4000[m3]

滞留水の貯蔵状況(1月28日時点) 滞留水の貯蔵及び処理の状況概略 平成26年1月30日 ①建屋内滞留水水位及び貯蔵量 1)建屋内滞留水水位及び貯蔵量 ・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足 ・処理装置(第二セシウム吸着装置)は運転中 施設 貯蔵量 T/B建屋内水位 貯蔵施設 貯蔵量 水位 ②廃棄物発生量 OP.2,462 プロセス主建屋 1号機 約13,500m⁹ 約15,100m³ OP.4,267 ・除染装置停止中のため、廃スラッジ貯蔵量は変動なし 高温焼却炉建屋 OP.1.818 2号機 約22,000m⁹ OP 3 118 約2,900m³ ③処理水タンク貯蔵量 3号機 約21,400m³ OP.2,761 約18,000m³ 淡水化装置による処理により、淡水受タンク及び濃縮塩水タンク貯蔵量は変動あり 4号機 約16.000m³ OP.2,709 蒸発濃縮装置は全台停止中 合 計 約72,900m³ 45,6号機滞留水貯蔵量 ・構内散水によりF・Hエリア等タンク貯蔵量は変動あり ②廃棄物発生量 ^<u>f</u>ood) 廃スラッジ 中低レベル排水用タンク Aエリア Fエリア セシウム吸着塔 炉注水ポンフ 反保管施設 保管量:597/700[m3] G3 • G4 • G5 Bエリア セシウム吸着塔 炉注水量(目標値) - 時保管施設 バッファタンク 1号機:108m³/日 2号機:108m³/日 F・Hエリア等タンク 恒設受変電設備 無線局舎 滞留水処理設備制御室 使用済ベッセル 3号機:132m³/日 セシウム吸着塔 一時保管施設 - ₹ 地下貯水槽 淡水化装置 Jエリア ノッチタンク群 処理水移送 ポンプ 水量:18135/18900[m3] **※2,3,4** 保管量:758/2514体 ※1 ④5,6号機滞留水貯蔵量 1.40ha 地下貯水槽 ろ過水タンク 地下貯水 中低レベル(既設) タンク総容量 中低レベル(追設予定) ■ 高レベル(既設) 多核種除去設備 □□ 高レベル(追設予定) 移送ホース布設ルート 淡水注水ルート 水量:434110/473000[m3] **※2,3,6** 処理水タンク総容量 処理水貯槽 淡水受タンク 濃縮廃液貯槽 濃縮塩水受タンク (多核種除去設備処理済水) 貯蔵量合計(3)+(4) ※1 第二セシウム吸着装置使用済ベッセル及び多核種除去設備の保管容器、処理力 ラム及びモバイル式処理装置使用済ベッセルを含む ※2 装置稼動中につき水位が静定しないため参考扱い ※3 貯蔵容量は運用上の上限を示す(タンクの貯蔵容量は10の位を切り捨てして表記) ※4 Hエリアのタンク(約3,000m³分)を5,6号機滞留水に使用 水量:27405/31400[m3] **※2,3** 水量:9205/9500[m3] **※2,3** ※5 多核種除去設備(ホット試験中)の処理済水を貯蔵するが、タンクの運用状況に応 タンク堰内水の一時貯留量 じて淡水や濃縮塩水を貯蔵 ③処理水タンク貯蔵量 ・ノッチタンク群 約3000/約4000[m3] ※6 地下貯水槽を含まない。ろ過水タンクの貯蔵容量(4,600m³)を含む ·地下貯水槽iv 約1500/約4000[m3]

2.3号機タービン建屋及びプロセス主建屋、高温焼却炉建屋の水位グラフ



処理装置の稼働状況

